

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-90	中学校	国語科	国語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	国語 038-82	国語 2		

▶ 1. 編修の基本方針

今、言葉にできることの、すべてを。

予測困難な時代。子供たちに託された未来は、決して単純なものではありません。あふれる情報の中から確かな未来につながる道筋を見いだすこと。多様性を生かして正解が一つに決まらない問いに向き合うこと。他者と協働して新たな価値を生み出すこと。これからの時代に必要な力の、土台となるのが、「言葉」です。

今、言葉にできることの、すべてを。どんなに時代が変わっても、変わることなく人生を支え、人とつなぎ、未来を開く言葉の力を子供たちに贈りたい。私たちはその一心で、教科書を編修しました。



特色 1

ゆるぎない 言葉の力を育む

どんなに時代が変わっても、子供たちを支え続ける。普遍的な国語力を育む教科書です。

・・・

その学習でどんな言葉の力を身につけるのか。学習の目的と資質・能力を明示することで、生徒が自ら学習の見通しをもち、主体的に考えて取り組めるようにしました。習得と活用を滑らかにつなぐ構成で、螺旋的に力を高めていきます。



特色 2

言葉と生きる 主体を育む

言葉でつながる。創る。未来を切り開く。生きた言葉の使い手を育む教科書です。

・・・

優れた作品・文章を通して人や社会の本質に迫るとともに、情報分析や論理的思考、他者理解、コミュニケーションなど、新しい時代に求められる国語力を培う教材を用意しました。豊かな人生の基盤となる語彙力や言語感覚を養います。



特色 3

新しい時代の 学びを提案する

ICT 機器を活用して、一人一人の学びに寄り添い、授業を活性化させる教科書です。

・・・

思い描いた言葉の力を自らの手で獲得できるよう、ICT を活用した授業の活性化や個別最適な学びを提案します。主体的な学びを導く、授業の導入に活用する、個に応じた補足的・発展的に扱うなど、多彩なコンテンツを用意しました。

特色

2

言葉と生きる主体を育む

— 言葉でつながる。創る。未来を切り開く。生きた言葉の使い手を育む教科書です。

「情報×SDGs」「情報整理 / 思考のレッスン」

言葉と情報で分断を超え、正解が一つに決まらない問いに挑み続ける人を育みます。

情報×SDGs

- ・社会の問題を自分のこととして捉え、解決を目指す。言葉で思考し、協働して課題解決に挑む力を育みます。
- ・2年では、災害時における情報収集の留意点を学びます。

「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」

- ・思考の視覚化や、「意見と根拠」「具体と抽象」など、情報整理や論理的思考の基礎・基本はここで学びます。

「情報×SDGs」



「語彙を豊かに」「語彙ブック」

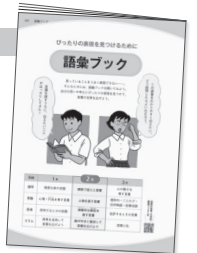
語彙力を鍛え、表現を豊かにします。

語彙を豊かに — 抽象的な概念を表す言葉

- ・主体的に語彙を増やし、語感を磨く方法を、各学年の「語彙を豊かに」で系統的に学びます。

語彙ブック

- ・巻末に「語彙ブック」を置き、思考や表現を支える言葉を多数紹介しました。
- ・「知っている」言葉を「使える」言葉に育てるために、用例や使用場面を示しました。



「語彙ブック」

特色

3

新しい時代の学びを提案する

— ICT 機器を活用して、一人一人の学びに寄り添い、授業を活性化させる教科書です。

「聞く」「話し合い(進行)」

動画や音声の視聴から始まる学び。



▼二次コードの動画を視聴しよう

美化委員が、年末の大掃除で重点的に掃除をする所を決めている。進行役になったつもりで話し合いの様子を視聴し、下の問題に取り組みよう。

QRコード

台本は184ページ

- ・二次元コードの動画・音声を視聴し、意見の妥当性や議論の進め方を評価する教材です。
- ・社会生活の基盤である「聴解力」=相手の話を聞いて理解する力を鍛えます。

「話し合い(進行)」(台本は次ページ)

「書く」「書くことのミニレッスン」

一人一台端末の活用法を提案。



- ・文章上達のコツをつかむミニレッスンも実装。

ガイドブックの制作やコメント機能による交流など、必然性のある場面でのICT機器の活用を提案しています。

二次元コード収録コンテンツ

3年間で352のコンテンツを収録。
個別最適な学びで生徒の意欲を高めます。



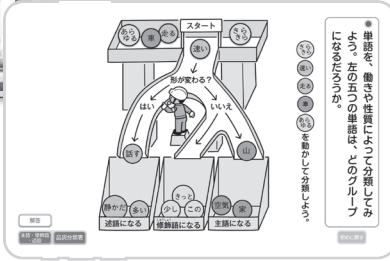
「聞き上手になろう」(対話の動画)



デジタル
資料目次

「文法への扉」
(ワーク)

教科書の二次元コードから、ワークや動画など、多彩な資料にアクセスできます。



二次元コードコンテンツ (第2学年)

学びの地図 → 「学びのカギ」 検索ツール	ウェブ	18	
国語の力試し → ヒアリング問題も含む CBT	ワーク	2	
「話す・聞く」 動画・音声	写真	11	
書くことのミニレッスン → 基礎・基本の練習	ワーク	5	
表現テーマ例集 → 困ったときの話題・題材集	ウェブ	5	
「読むこと」 教材資料	写真	PDF	3
朗読音声 → 一流の朗読者による古典・近代詩の朗読		10	
漢字の練習 / 漢字一覧表 → 全新出漢字・音訓	PDF	31	
「文法への扉」 練習問題 → 左図参照	ワーク	3	
「文法」 練習問題	PDF	3	
語彙ブック → 2年は小学校と1年の語彙表を収録	PDF	2	
資料編デジタル → 小・中学校の資料編から厳選	PDF	13	
今日の課題への取り組み → 情報モラル、防災、多様性、心のケア、SDGs、外国語を母語とする生徒に向けて 等		13	
2年：計		119	

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭 「見えないだけ」	・巻頭に詩「見えないだけ」を配置しました。言葉が喚起する豊かなイメージに触れ、国語学習への期待を高めるとともに、これから出会う新しい世界やきずなを思い描くことで、豊かな情操と創造性を培います。 【第一号】【第二号】	前見返し
特設 中扉	・伝統色に関わる言葉と写真で美しい日本の四季をつづります。我が国の伝統と文化を愛し、尊重する心を育てます。 【第五号】	中扉(p.15他)
1 広がる学びへ	・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うことを意図して、小説「アイスプラネット」を位置づけました。世界中を旅する登場人物の姿を通して、広い視野や国を超えて人とつながる力の大切さを伝えます。 【第一号】【第五号】 ・「魅力的な提案をしよう」では、ICT機器によるプレゼンテーションで職業・生活との関連を図り、勤労を重んずる態度を培います。【第二号】 ・「枕草子」は冒頭に加え複数の章段を紹介し、資料も加えて充実を図りました。また、伝統と文化を尊重する心と豊かな情操を培うために、年間4か所「季節のしおり」を設けました。2年では人の営みにまつわる言葉や詩歌を紹介しています。 【第一号】【第五号】	p.16-27 p.32-35 p.36-39、40、90、138、182
2 多様な視点から	・「クマゼミ増加の原因を探る」では、生物と温暖化の関係について仮説・検証で探る過程を示しました。真理を求める筆者の態度を通して、科学的なものの見方や考え方を養うとともに、環境の保全に寄与する態度を育てます。 【第一号】【第四号】 ・新しい時代の担い手として主体的に社会の形成に参画し、他者との協働を通してその発展に寄与する人材をたくむために、情報の整理(視覚化)や分析(比較・分類・関連づけ)の方法を身に付ける「情報整理のレッスン」を設けました。 【第三号】 ・「情報を整理して伝えよう」では、職業ガイド作りを通して職業・生活との関連を図り、勤労を重んずる態度を培います。【第二号】	p.42-51 p.52-53 p.54-57
3 言葉と向き合う	・我が国の短詩型文化の伝統を尊重し、豊かな情操と創造性を培うために、「短歌に親しむ」「短歌の創作教室」「短歌を味わう」を位置づけました。また、言葉に関する幅広い知識と教養を感じ取れるよう、随筆「言葉の力」を位置づけました。【第一号】【第二号】 ・語彙を豊かにすることで、表現力やコミュニケーション能力を高めることを目指し、活動「語彙を豊かに」を設けました。個の価値を尊重し、敬愛し合いながら協力する態度の礎を築きます。 【第二号】【第三号】	p.62-68 p.69-71 p.74-75
特設 情報×SDGs	・特設「情報×SDGs」では、「SDGs」を題材に情報活用する方法を学びます。2年では災害時における情報収集・発信を取り上げ、予測困難な時代を生き抜くために、情報に流されることなく真実を見極め、主体的に活用する自主・自律の精神を養います。【第三号】【第四号】	p.76-81
特設 いつも本はそばに	・読書を通して幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度と豊かな情操を培うために、年間2か所に読書単元を設け、読書習慣の確立を目指しました。 【第一号】 ・「翻訳作品を読み比べよう」では、「星の王子さま」の翻訳の比較を通して日本や諸外国がはぐくんできた言葉や文化への理解を深め、国際感覚をはぐくみます。また、「『自分らしさ』を認め合う社会へ」では、個人の価値を尊重するとともに、平等や自他への敬愛と協力を重んじ、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画する態度をはぐくみます。【第一号】【第二号】【第三号】【第五号】 ・「本の世界を広げよう」では、伝統と文化を尊重し、国際平和に寄与する態度を養う「戦争・平和」「文化」「芸術」、環境保全に寄与する態度を養う「環境」、自主・自律の精神を養う「旅」、知識と教養を養う「言葉」、公共の精神に基づく「共生」「生き方」「いのち」、日常生活と関連する「食」「暮らし」などをテーマに、多種多様な書籍を紹介しました。 【第一号】【第二号】【第三号】【第四号】【第五号】	p.82-89、 p.192-202 p.84-86、 p.192-199 p.87-89 p.200-202
4 人間のきずな	・豊かな情操を培うため、時を超えてつながる友情を描いた小説「ヒューマノイド」、戦時下における親子の愛情を描いた随筆「字のない葉書」を位置づけました。 【第一号】 ・「表現を工夫して書こう」「表現の効果を考える」では、手紙という形式の中で我が国がはぐくんできた伝統と文化を継承するとともに、職業や生活に生かせるよう依頼状・礼状の基本やTPOに応じた手紙とメールの使い分けを学びます。 【第二号】【第五号】 ・「敬語」の学習を通して道徳心や自他への敬愛、日本の伝統と文化を尊重する態度を養います。 【第一号】【第三号】【第五号】 ・「聞き上手になろう」では、個人の価値を尊重する態度や他者への敬愛の精神をはぐくむために、相手の話を能動的に引き出し傾聴する、対話の力を習得します。 【第二号】【第三号】	p.92-109 p.110-112 p.113-115 p.116-117
5 論理を捉えて	・「モアイは語る」では、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、環境の保全に寄与する態度を養います。 【第一号】【第四号】 ・新しい時代の担い手として主体的に社会の形成に参画し、多様な価値観をもつ他者と協働しながら、その発展に寄与する人材をはぐくむために、「思考のレッスン」で情報と情報との関連を読み解き、論理的に思考するための基礎を築きます。 【第三号】 ・「適切な根拠を選んで書こう」では、多様な捉え方ができる問題について、根拠を吟味して説得力のある意見を述べる方法を学びます。公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画するための素地を培います。 【第三号】	p.122-129 p.130-131、 180-181 p.132-135
	・我が国の伝統と文化を愛し、尊重する心を育てるために、古典の前に「聴きわたる 月夜の浜辺」を位置づけました。 【第五号】	p.136-137
6 いにしえの心を訪ねる	・我が国の伝統と文化を愛し、尊重する心を育てるために、「音読を楽しむ 平家物語」、および「『平家物語』の世界」「『平家物語』の主な登場人物たち」を位置づけました。「平家物語」の韻律の美を感じ、その世界観を視覚的に理解できるようにしました。【第五号】 ・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を涵養するため、「平家物語」と「徒然草」を取り上げました。また、「漢詩の風景」では、漢詩を通してつながる我が国と中国との文化を考え、尊重する態度を養います。 【第五号】	p.140-145 p.146-164

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
7 価値を語る	<ul style="list-style-type: none"> ・評論「君は『最後の晩餐』を知っているか」および解説「『最後の晩餐』の新しさ」では、美術作品の評論・解説を比較することを通して、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、国際理解や文化の保全に寄与する態度を養います。【第一号】【第五号】 ・「立場を尊重して話し合う」では、異なる立場から話し合い、多角的に問題を検討することで、視野を広げる方法を学びます。主体的に社会の形成に参画するための素地を培います。【第三号】 	p.166-179 p.186-189
8 表現を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> ・正義と責任、自他への敬愛に思いを致すために、登場人物の心の葛藤を描いた「走れメロス」を位置づけました。【第三号】 ・「描写を工夫して書こう」では「心が動いた瞬間」を題材に物語を創作することを通して、創造性を培います。【第二号】 ・「国語の学びを振り返ろう」では、国語を学ぶことの価値を再確認することを通して、真理を求め、幅広い知識と教養を身に付けることの価値を再認識できるように配慮しました。【第一号】 ・詩「鍵」では、強く真理を求める筆者の姿勢に接することで、知識・教養への探究心と豊かな情操を培います。【第一号】 	p.204-221 p.224-227 p.232-235 p.236-238
特設 国語の力試し	・学習活動や社会生活の基盤となる国語力を伸長し、主体的に活用する態度をはぐくむために、「国語の力試し」を設けました。【第二号】	p.262-266
特設 語彙ブック	・「語彙ブック」では、思考や表現を支える語彙力を高め、語感を磨きます。言葉で未来を切り開き、新たな価値を創造する主体の育成を旨として、創造性の源となる表現力、協働の礎となるコミュニケーション能力を高めます。【第二号】【第三号】	p.267-274
資料 資料編	<ul style="list-style-type: none"> ・「盆土産」「形」「古典芸能の世界(能・狂言)」「敦盛の最期」で、我が国の伝統と文化を愛し、尊ぶ心をはぐくみます。【第五号】 ・豊かな情操と道徳心、自他への敬愛の心を「いろいろな通信文」を通して養います。【第一号】【第三号】 	p.290-307 p.288-289
巻末 ICT活用のヒント	・ICTを活用するのが効果的な学習場面や、二次元コードに収録したデジタル資料を確認できます。生活や勤労の基盤となるICT機器を積極的に活用し、習熟することを通して、主体的に社会の形成に参画するための基礎を養います。【第二号】【第三号】	p.341-340

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育への配慮

ユニバーサルデザイン・カラーユニバーサルデザインの観点から、全ての生徒が使いやすい教科書を目指しました。全ページ、専門家の校閲を受けています。

学習支援上の配慮

- ・学習の流れとポイントがひと目でわかり、見通しをもちやすい紙面が生徒の理解を助けます。そこで、3領域を通して紙面構成を統一しました（本資料p.2「特色1」参照）。

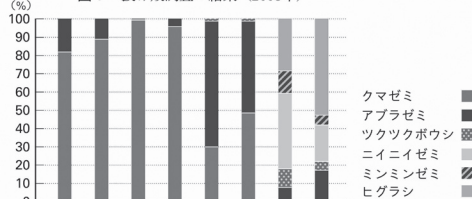
色覚特性への配慮

- ・図表は、色に頼ることなく線の種類や濃淡、地紋でも識別できること、色覚特性によって判別しにくくなる色の組み合わせは行わないことなどを基本に作成しました。

用字や書体に関する配慮

- ・本文には、教科書のために自社開発した明朝体・ゴシック体を用いています。手書き文字との差が学習上の支障にならないよう画数や点画の付き方を調整しました。
- ・新出漢字欄や漢字教材では、手書き文字に近い自社開発の教科書体を用いました。
- ・漢字の読み仮名や読書案内などの小さな文字は、UD書体で視認性を高めました。

図1 抜け殻調査の結果(2008年)



色に頼ることなく、濃淡や地紋でも識別できるようにしました。



弟の戦争

ロバート・ウェストル 原田 勝訳
わんがん 原田 勝訳
湾岸戦争開戦の日、イギリスで平和に暮らす兄弟を事件が襲った。

学習上の配慮を施した自社開発フォント



多様性への配慮

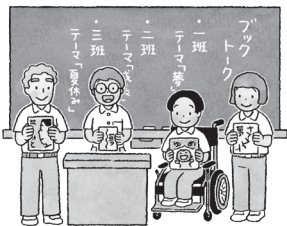
多様な背景をもつ子供たちが、自己肯定感をもって主体的に学習に臨めるように配慮しました。

挿絵や写真に関する配慮

- ・生徒が自分と重ねながら学べるように、等身大のキャラクターを設定しました。多様性や多文化共生を意識し、さまざまな背景をもつ生徒が登場するよう配慮しました。

漢字学習に関する配慮

- ・全ての新出漢字・音訓欄に二次元コードを付し、筆順や用例を確認できる一覧や、練習問題を用意しました。



さまざまな背景や価値観をもつ生徒が登場

「読むこと」脚注の新出漢字欄

編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
105-90	中学校	国語科	国語	第2学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38 光村	国語 038-82	国語 2		

▶ 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色

1

ゆるぎない言葉の力を育む

— どんなに時代が変わっても、子供たちを支え続ける。普遍的な国語力を育む教科書です。

✓ 着実に力を育む系統性

「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」が関連し合った構成。

- ・「知識及び技能」に示された指導事項を確実に押さえ、その力を活用して各領域の言語活動を行うことで、「思考力、判断力、表現力等」を無理なく高めていける構成としました。
- ・学年ごとに内容を深めながら、螺旋的に言葉の力を積み重ねていくことで、資質・能力の確実な定着を図ります。



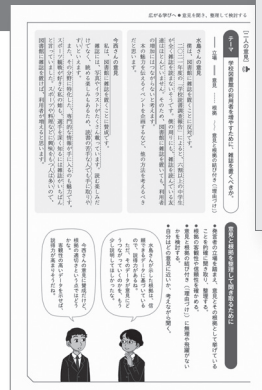
「思考力、判断力、表現力等」の教材



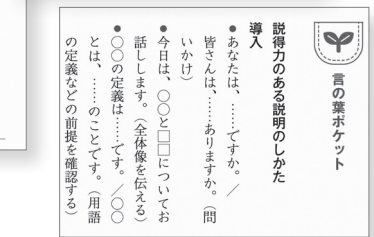
「話すこと・聞くこと」教材

音声や動画から始まる、新しい学びの形

- 生徒たちの「やってみたい」を大切に、多様なテーマ・言語活動を、発達段階を考慮して配列しました。
- 主たる学習機会は年間6か所。二次元コードに収録の音声や動画を視聴して、聴解力やファシリテーション能力を身につける、新しい活動を取り入れました。
- 最初の見開きで学習の流れとポイントをつかみ、次の見開きで具体例を基に力を身につける、コンパクトな紙面構成になっています。
- ICT機器の活用場面や可視化の方法、話型などを随所に紹介し、実生活に生かせるよう工夫しています。



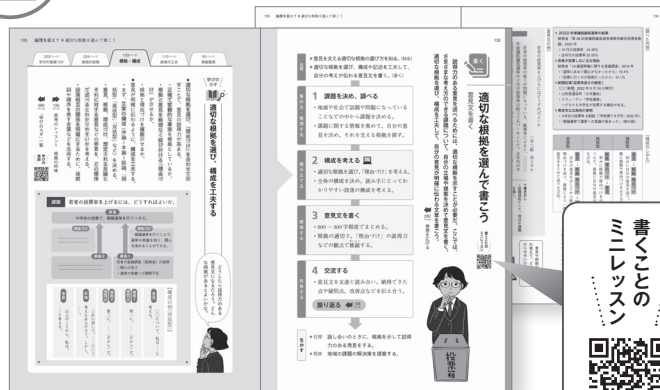
「意見を聞き、整理して検討する」



「言の葉ポケット」(話型)



「書くこと」教材



「適切な根拠を選んで書こう」(意見文)

情報化社会に対応した書く力を

- 生徒たちの発達段階や興味・関心、必然性を考慮して、多様なテーマ・文種を系統的にバランスよく位置づけました。
- 主たる学習機会は年間7か所。適切な根拠を選んで意見文を書く教材や、読み手に伝わるように描写を工夫して書く教材など、現代に必要な書く力を意識して教材化しました。
- 各教材冒頭の二次元コードには「書くことのミニレッスン」として、「書くこと」に役立つ小さなワークを用意しました。



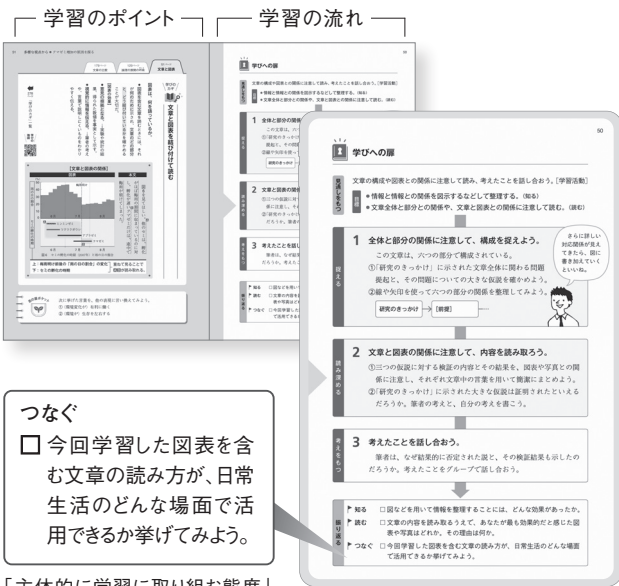
「読むこと」教材

タブレットにも対応した新しい手引き

- 手引き「学びへの扉」は、学習の流れとポイント(「学びのカギ」)がひと目でつかめるよう紙面構成を一新しました。タブレットの縦置きにも対応しています。
- 「見通しをもつ」→「捉える」→「読み深める」→「考えをもつ」→「振り返る」という学習過程を明確に示し、「振り返る」では「主体的に学習に取り組む態度」も評価します。
- 「学びのカギ」では、ポイントと具体例をセットで示し、上部のタブで年間の系統も把握できるようにしました。

時代を映す、多様な「読むこと」教材

- 文学的文章は、名作に加え、現代を代表する作家の書きおろしなど、読み応えのある作品を配置しています。人権教育にも十分配慮し、多様な作品を偏りなく選びました。
- 説明的な文章は、現代社会を生きるのにふさわしい題材を選び、論理的思考のモデルとなる文章を位置づけました。
- 図と文章を対応させて読んだり、図表などを活用して考えをまとめたりする学習ができるよう、工夫しています。



つなぐ
□今回学習した図表を含む文章の読み方が、日常生活のどんな場面で活用できるか挙げてみよう。

「主体的に学習に取り組む態度」を評価する項目

「クマゼミ増加の原因を探る」(手引き)

特色

2

言葉と生きる主体を育む

— 言葉でつながる。創る。未来を切り開く。生きた言葉の使い手を育む教科書です。

質の高い「読むこと」教材

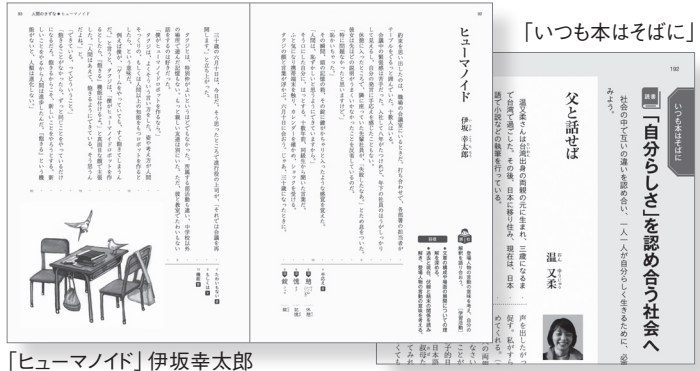
言葉を通して 自分と、他者と、世界と出会う。

「ヒューマノイド」伊坂幸太郎

- ・中学生に人気の作家による書きおろし教材が誕生。巧みな伏線や描写から、文学の醍醐味を実感できます。

「いつも本はそばに」

- ・生涯にわたる読書習慣を定着させるため、年間2か所、多様なテーマを扱った読書単元を設けました。



「ヒューマノイド」伊坂幸太郎

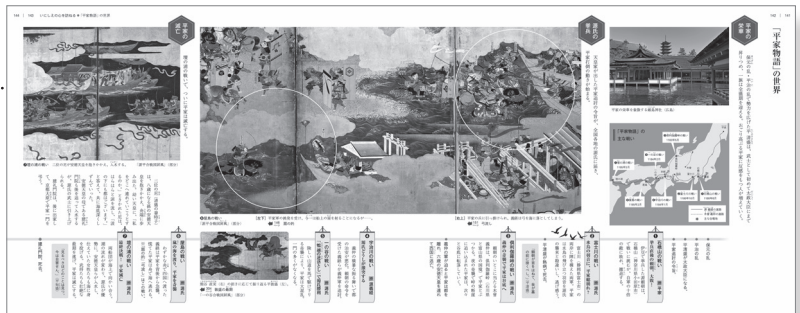
古典教材 言語文化を身近に。

古典教材

- ・古典の世界に親しめるよう、両観音開きで、ダイナミックな紙面に一新しました。

「言葉を味わう」「季節のしおり」

- ・美しい和語や四季の言葉をちりばめました。



「平家物語」の世界

特色

3

新しい時代の学びを提案する

— ICT 機器を活用して、一人一人の学びに寄り添い、授業を活性化させる教科書です。

ICT活用 ICTをより効果的に活用できるように。

ICT 機器（パソコン・タブレット）の活用

- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材の随所に、ICT やパソコンマーク、タブレットでの作例を位置づけ、ICT 機器を活用すると効果的な場面を示しました。

後見返し「ICT活用のヒント」

- ・ICTの活用場面や二次元コードの一覧を、学習過程に沿って示しました。どこでどのように活用できるかが具体的にイメージできます。

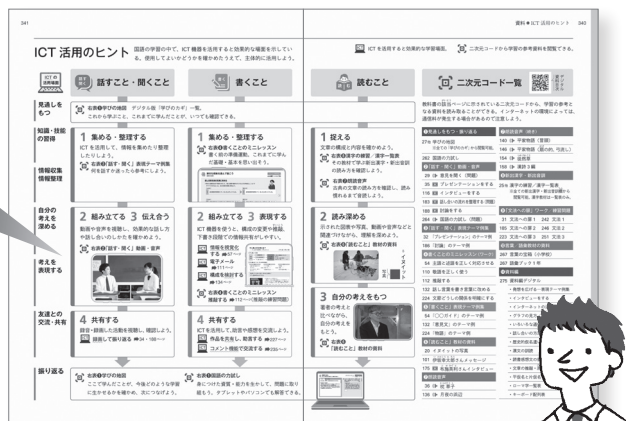
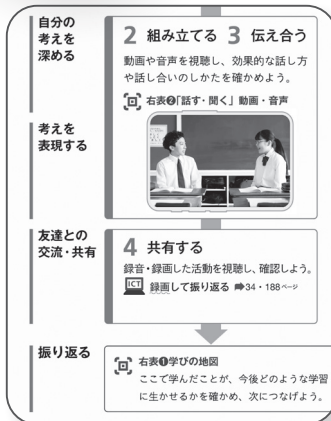


「描写を工夫して書こう」(物語)

341ページ



「情報を整理して伝えよう」(職業ガイド)



「ICT活用のヒント」

編集上の留意点	
教育基本法への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育基本法の理念を踏まえ、特に次の点を育成することに意を用いました。 <ol style="list-style-type: none"> ① 未来を切り開く言葉の力と創造性 ② 幅広い知識・教養と豊かな心 ③ 社会への参画に資するコミュニケーション能力 ④ 伝統文化を尊重する姿勢 ⑤ 社会の変化に対応する能力
学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習指導要領の各学年の目標・内容がもれなく指導でき、言語活動例が各段階で適切に扱えるようにしています。 ◆ 「言葉」「情報の扱い方」「古典」「読書」など「知識及び技能」を確実に押さえるとともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」において、思考・判断・表現を繰り返す中で、着実に資質・能力を身につけられるよう配慮しています。
内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習活動を通して「言葉による見方・考え方」を育成できるよう、学年内・学年間の系統を工夫しています。 ◆ 生徒の資質・能力の育成のために、教科横断的な関連を図るとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、カリキュラム・マネジメントに資する内容構成の工夫をしています。
配分・配列	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「本編」「学びを深める」「資料編」の3部から成っています。「本編」は八つのまとまりで教材を構成し、発達段階や学習の持続性を考慮し、軽重をつけバランスよく配列しています。「学びを深める」には、「本編」と合わせて学習できる「文法」や評価問題「国語の力試し」、冊子風の「語彙ブック」、資料編には、「本編」の補充学習・発展学習に資するような資料を豊富に掲載しています。 ◆ 3学期制、2学期制のどちらにも対応するよう、教材数・領域のバランスを工夫しています。
資質・能力の育成 (主体的・対話的で深い学び)	<p>[知識及び技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 言葉をテーマにした教材や語彙・語感を磨く教材を設定し、言葉に関する興味・関心が深まるよう工夫しています。語型・文型を紹介した「言の葉ポケット」や「読むこと」教材に掲載の「注意する語句」、「季節のしおり」や中扉「言葉を味わう」、さらに巻末「語彙ブック」などにおいて、3学年で1716の語彙を提示し、語彙の獲得・活用を促しています。 ◆ 「情報」は、「思考／情報整理のレッスン」の系列や、巻頭「思考の地図」などで、各領域の学習や他教科、日常生活と関連させながら学べるよう工夫しています。また、特設「情報×SDGs」では、SDGsとの関連を図りながら、情報の収集や発信、メディアリテラシーを系統的に学べるよう配慮しています。 ◆ 生涯にわたる読書生活につながるように、多様なジャンルの作品・文章、読書活動、読書案内、コラムを位置づけています。読書案内や「読むこと」教材末「広がる読書」では、人権教育の観点からも吟味・検討し、表紙写真とともに、3学年で447冊の本を提示しました。 <p>[思考力、判断力、表現力等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」では、見通しから振り返りまでの学習の流れと、学習のポイント「学びのカギ」を明確に示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促す紙面構成にしています。資料編「学びのカギ」一覧やデジタル資料「学びの地図」では、各領域の3年間の力の系統を把握することができます。 <p>[学びに向かう力、人間性等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 巻頭「学習の見通しをもとう」では1年間の国語学習を見渡す、巻頭「主体的な学びのために」では学び方を知ることができます。 ◆ 「主体的に学習に取り組む態度」を育むことを重視し、各教材の「振り返る」では自分の言葉で学びを価値づける場を設けています。 ◆ 巻末「国語の力試し」では、身につけた資質・能力を評価する問題を位置づけ、他教科や日常に生かしていけるよう工夫しています。
他教科・日常生活等との関連 (カリキュラム・マネジメント)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ カリキュラム・マネジメントの観点から、他教科などとの関連を図れるように、話題・題材の選定において工夫しています。 【理科】「クマゼミ増加の原因を探る」 【外国語】「翻訳作品を読み比べよう(読書)」 【技術・家庭】「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」 【美術】「君は『最後の晚餐』を知っているか」「『最後の晚餐』の新鮮さ」 【社会】「『自分らしさ』を認め合う社会へ(読書)」 【学校行事】「情報を整理して伝えよう(職業ガイド)」 など ◆ 学習活動面においても、他教科の学習や日常生活で活用できるよう配慮しています。 「魅力的な提案をしよう(プレゼンテーション)」「表現を工夫して書こう(手紙・電子メール)」「聞き上手になろう」など ◆ 各学年の巻頭「学習の見通しをもとう」では、各教材に関連する他教科を挙げ、教科横断的な扱いを促しています。
ICT活用 (個別最適な学び)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「二次元コード(QRコード)」が示してある場所には、生徒が学習を進める中で参考となり、さらに興味・関心をもって学べる多様な資料を収めています。朗読音声や漢字の練習問題、「国語の力試し」の発展問題(ウェブサイト用)なども用意しています。 ◆ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材には、随所にICTやパソコンマーク、タブレットでの作例を位置づけ、ICT機器の効果的な活用を促しています。後見返しには一覧「ICT活用のヒント」を設け、個別最適な学びや家庭学習にも対応できるようにしています。
伝統・文化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 我が国の言語文化である古典や韻文、近代文学などを、図版等とともに取り上げ、生涯の宝として身につけられるようにしました。 ◆ 「季節のしおり」や中扉「言葉を味わう」、「音読を楽しむ」「聴きひたる」など、美しい日本語に触れられる場を豊富に用意しています。
地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 話題・題材は、地域的な偏りを避けるとともに、国際的視野が育つように、バランスの取れた構成にしています。 ◆ 3年には、47都道府県の郷土ゆかりの作家や作品を紹介する資料を掲載し、郷土の言語文化への関心を高める工夫をしています。
特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習上支援が必要な生徒のために、またユニバーサルデザインに対応した教科書作りの観点から、特に以下に配慮しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報のまとまりが認識しやすいように、各領域の教材名や重要な知識などはアイコン・マークを付けて示す。また、グラフの中の領域を線で分けたり、図書の周りを線で囲んだりして明確に区別できるようにする。(「本の世界を広げよう」など) ・ 色覚特性に配慮して、色に頼ることなく、形や線の種類、濃淡、地紋などで識別できるように作成する。また、色を問いとす学習活動を設定しない。説明の際は、色以外の情報も合わせて示すなどして教材化を図る。(「クマゼミ増加の原因を探る」など)
小学校との連携、高等学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中学校への円滑な接続を図り、明るくスタートできるよう、1年の冒頭に、小学校での既習事項を確認できる「言葉に出会うために」を設けました。中学校での学習を進めていく中でも、いつでも戻って基礎・基本を確認できる場として活用できるよう工夫しています。 ◆ 3年では、高校で出会うような作家の文章や古典を紹介したり、小論文や文語文法(発展)を扱ったりして、連携に配慮しています。
今日的な課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 特別支援教育やカラーユニバーサルデザインの観点の他、学習のユニバーサルデザイン、防災教育、外国人児童生徒への教育、人権教育などの観点から教科書全体の校閲を受け、それぞれ配慮を施しています。また、キャリア教育を意識したコーナーや、SDGsを扱った教材などを位置づけています。
文字提出・表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「読むこと」の新出漢字欄は、本文で学習する読みだけでなく、漢字と全ての音訓を示す形にし、学んだ漢字を他の場面にすぐ応用できるようにしました。1教材での提出数は制限し、過重な負担とならないよう配慮しています。 ◆ 表記・表現の基準は全学年にわたって統一し、適切な表記が身につくよう配慮しています。
挿絵・写真・図・グラフなど	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 巻頭「思考の地図」や「情報整理のレッスン」、「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材や、「読むこと」教材の手引きに、多様な表、グラフ、マップなどを配し、考えを可視化したり形成したりする技法として活用できるように工夫しています。 ◆ 非連続テキストの読み取りの学習に生かすことのできる教材を随所に設けました。(「クマゼミ増加の原因を探る」など)
製本・印刷・活字など	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に、色覚特性に対応するために、配色・色調にも配慮しています。 ◆ 原料や製法についても、十分に配慮しました。環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。 ◆ 目的や用途に合わせて、自社作成の明朝体・ゴシック体・教科書体、また読みやすいUD書体を使用しています。

▶ 2. 対照表

[第 2 学 年]

	図書の構成・内容	知識及び技能	学習指導要領の内容			該当箇所	配当時数
			思考力、判断力、表現力等				
			A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと		
1 広がる学びへ	見えないだけ	(1) エ				(前見返し)	1
	アイスプラネット	(2) イ				(1) ア (2) イ	16-27
	漢字に親しもう1	(1) ウ					28
	[聞く] 意見を聞き、整理して検討する	(2) ア	(1) ア (2) ア				29-30
	文法への扉1 単語をどう分ける?	(1) オ					31
	魅力的な提案をしよう	(1) ア	(1) イ・ウ (2) ア				32-35
	枕草子 季節のしおり 春	(3) ア・イ (1) エ		(1) ア・ウ (2) ウ		(1) オ (2) イ	36-39 40
2 多様な視点から	クマゼミ増加の原因を探る	(2) イ				(1) ア・ウ (2) ア	42-51
	情報整理のレッスン 思考の視覚化	(2) イ					52-53
	情報を整理して伝えよう	(2) イ		(1) ア (2) ア			54-57
	漢字1 熟語の構成	(1) ウ					58-59
	漢字に親しもう2	(1) ウ					60
3 言葉と向き合う	短歌に親しむ	(1) エ				(1) エ・オ (2) イ	62-65
	短歌の創作教室	(1) エ		(1) ウ (2) ウ			66-67
	短歌を味わう	(1) エ				(1) エ・オ (2) イ	68
	言葉の力	(3) エ				(1) オ (2) イ	69-71
	言葉1 類義語・対義語・多義語	(1) エ					72-73
	語彙を豊かに	(1) エ					74-75
情報×SDGs	メディアの特徴を生かして情報を集めよう デジタル市民として生きる	(2) ア・イ				(1) イ (2) ウ	76-81
いつも本はそばに	読書を楽しむ	(3) エ					82-83
	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま	(3) エ				(1) エ・オ (2) イ・ウ	84-85
	コラム 「わからない」は人生の宝物	(3) エ					86
	読書案内 本の世界を広げよう 季節のしおり 夏	(3) エ (1) エ					87-89 90
4 人間のきずな	ヒューマノイド	(1) オ				(1) イ (2) イ	92-103
	字のない葉書	(3) エ				(1) エ (2) イ	104-109
	表現を工夫して書こう	(1) ア・カ		(1) ウ (2) イ			110-111
	[推敲] 表現の効果を考える	(1) ア・カ		(1) エ (2) イ			112
	言葉2 敬語	(1) カ					113-115
	聞き上手になろう	(1) ア	(1) エ (2) ア				116-117
	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字	(1) ウ					118-119
	漢字に親しもう3	(1) ウ					120
5 論理を捉えて	モアイは語る—地球の未来	(2) ア				(1) エ・オ (2) ア	122-129
	思考のレッスン1 根拠の吟味	(2) ア					130-131
	適切な根拠を選んで書こう	(2) ア		(1) イ・ウ (2) ア			132-135
	聴きひたる 月夜の浜辺	(1) エ					136-137
	季節のしおり 秋	(1) エ					138
6 いにしへの心を訪ねる	音読を楽しむ 平家物語	(3) ア					140
	「平家物語」の世界/ 「平家物語」の主な登場人物たち	(3) イ					141-145
	扇の的—「平家物語」から	(3) ア・イ				(1) イ (2) イ	146-153
	仁和寺にある法師—「徒然草」から/係り結び	(3) ア・イ		(1) イ (2) ア		(1) オ (2) イ	154-157
	漢詩の風景/律詩について	(3) ア・イ				(1) エ (2) イ	158-164
7 価値を語る	君は「最後の晩餐」を知っているか	(2) イ				(1) エ・オ (2) ア	166-175
	「最後の晩餐」の新しさ	(2) イ				(1) エ・オ (2) ア	176-179
	思考のレッスン2 具体と抽象	(2) ア					180-181
	季節のしおり 冬	(1) エ					182
	[話し合い(進行)]話し合いの流れを整理しよう	(2) ア	(1) オ (2) イ				183-184
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。	(1) オ					185
	立場を尊重して話し合おう	(2) ア	(1) オ (2) イ				186-189
	漢字に親しもう4	(1) ウ					190-191
いつも本はそばに	「自分らしさ」を認め合う社会へ 父と話せば/六千回のトライの先に	(3) エ				(1) オ (2) ウ	192-199
	読書案内 本の世界を広げよう	(3) エ					200-202
8 表現を見つめる	走れメロス	(1) エ		(1) ウ (2) ア		(1) イ・オ (2) イ	204-221
	漢字に親しもう5	(1) ウ					222
	文法への扉3 一字違いで大違い	(1) オ					223
	描写を工夫して書こう	(1) エ		(1) ウ・オ (2) ウ			224-227
	言葉3 話し言葉と書き言葉	(1) イ					228-229
	漢字3 送り仮名	(1) ウ					230-231
	国語の学びを振り返ろう	(2) ア	(1) オ (2) イ	(1) オ (2) ア			232-235
	鍵	(1) エ				(1) オ (2) イ	236-238
学びを深める	文法 一年生の復習 文法1 自立語 文法2 用言の活用 文法3 付属語	(1) オ					240-256
	[練習] 小学校六年生で学習した漢字 小学校六年生で学習した漢字一覧	(1) ウ					257-261
	国語の力試し	(1) エ・カ	(1) エ (2) ア	(1) ウ・エ (2) イ		(1) ア・エ (2) イ	262-266
	語彙ブック	(1) エ					267-274
					合計時数	120	